

# JAL被解雇者労働組合（JAL 争議団）

[info@jhu-wing.main.jp](mailto:info@jhu-wing.main.jp)

<https://jhu-wing.main.jp/>

## JAL 争議の早期全面解決をめざす

# 12.8 総決起集会

12月8日 文京区民センター3A 18時半～

YouTube同時配信

## JHUは全面解決をめざし闘いを続けます！



2010年12月9日の解雇予告通知から間もなく12年。「必要のなかった解雇」「理由もなく職場を奪われた」、この悔しい思いは強くなるばかりです。

JAL再生は、2009年9月にタスクフォースが自主再建可能と判断したにもかかわらず、政府の関与により公的整理に変わりました。経営者は破綻の責任を誰一人とらず、犠牲にされたのは労働者と個人株主です。何としても、この理不尽な解雇争議を解決したい！

集会に一人でも多くの方のご参加をお待ちしています。

### 桃栗3年、柿8年、JAL解雇争議は12年

- 2010年：大晦日、人員削減目標を超過達成する中で、乗員81名、客室乗務員84名を解雇
- 2012年：新規採用を始めても、被解雇者は一人も職場に戻さず
- 2016年：最高裁から争議権投票への介入は憲法違反と断罪されても、争議を解決しようとせず
- 2018年：特別協議スタート、再雇用に応募した争議団員延べ21名は全員不合格  
マッチング希望者の地上職の職場は半分も決まらず
- 2022年6月：2年間で300万円の「業務委託」を提案、2労組は合意し争議を終結



私達は12年間、原職復帰を求めて闘ってきました。その中で、会社は「業務委託」という、雇用によらない働き方、政財界が推し進める労働者の無権利化をめざす働き方を提案してきました。「JAL フィロソフィー」「JAL 人権方針」が聞いて呆れる対応です。

争議を終結した2労組の被解雇者に宛てた赤坂社長の手紙には、「人財こそが日本航空の最大の強み」と書かれています。それが本心なら、必要のなかった解雇を謝罪し、今すぐベテラン乗務員を職場に戻すべきです！さらに、「世界で一番選ばれ愛されるエアラインをめざす」とも書かれています。必要もなく働く者を解雇し、未だに全面解決できない企業体質を知った方々が本当にJALを愛してくれるのでしょうか。

本年10月3日、来年度の新入社員300名の内定式が行われました。JALの未来を担う若者たちが胸に描いているイメージを裏切らないよう、一日も早く解雇争議を全面解決し、安全第一のJALになっていただきたい。争議解決なくして安全なし！